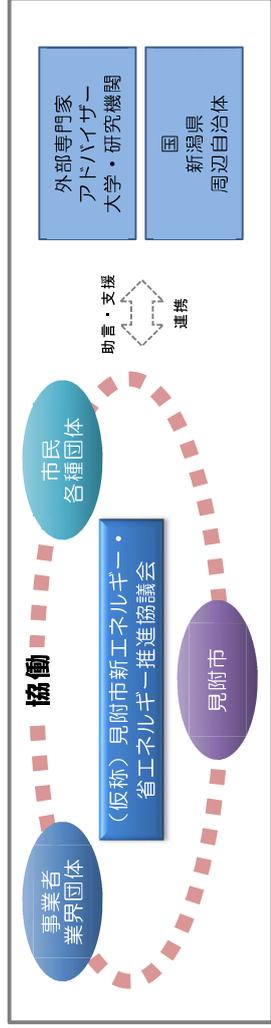


## プロジェクトの推進スケジュール

プロジェクト名	短期的な取り組み	短期(2020-2022年)	中期(2023-2026年)	長期(2027-2030年)
① バイオマス循環プロジェクト	もみ殻エネルギー利用	補助事業を活用した調査・研究	市内各地域への展開	もみ殻利用見附モテルの確立
② 災害に強い公共施設整備プロジェクト	木質バイオマス燃料化	導入可能性調査	公共施設への設備導入	家庭・事業所への普及
	防災施設への新エネルギー、蓄エネ導入	優先施設の導入可能性調査	優先施設への設備導入 その他施設の導入可能性調査	その他施設への設備導入
③ 環境共生モデル健康(スマートワーカー)住宅プロジェクト	高性能住宅の普及促進	普及啓発補助事業の実施	(継続)	(継続)
	ZEH住宅の普及促進	普及啓発	(継続)	(継続)
④ 過度な自動車依存から脱却するための公共交通整備プロジェクト	公共交通網整備	公共交通網計画策定	計画推進・見直し	計画推進・見直し
	レンタサイクル電子化	グリーンカーナビ検証	導入開始	導入拡大
⑤ 安全・安心・いかなまちづくりプロジェクト	LED街灯・防犯灯更新	実用化	(継続)	(継続)
	安全・安心・いかなまちづくりの整備	普及啓発補助事業の実施	LED化完了	LED化完了
⑥ 公共施設への地中熱活用プロジェクト	安全・安心・いかなまちづくりの整備	導入可能性調査	優先バス停設備導入	その他バス停設備導入
	まちなか新エネルギー	導入可能性調査	事業化検討	事業化
⑦ 公共施設への地中熱活用プロジェクト	地中熱蓄システム	見附駅再整備に合わせた導入	歩道整備時導入検討	(継続)
	下水熱利用システム	下水道施設整備時導入検討	(継続)	(継続)
⑧ 未来×エネルギー環境教育プロジェクト	公共施設中熱利用	公共施設整備時導入検討	(継続)	(継続)
	SDGs教育と連携した環境・エネルギー教育	プログラムの検討	プログラムの展開	(継続)
市民・事業者への学びの提供	勉強会開催	セミナー開催	シンポジウム開催	

## ビジョンの推進体制

必要に応じて国や県、周辺自治体と連携しながら、『(仮称)見附市新エネルギー・省エネルギー推進協議会』を中心として、住民・事業者・行政の協働により本ビジョンを推進していきます。



見附市新エネルギー・省エネルギービジョン概要版 ■発行 2020年3月 ■担当 見附市市民生活課  
 ■問い合わせ TEL: 0268-62-1700 (内線 171) e-mail: shiminseikatst@city.mitsuke.niigata.jp

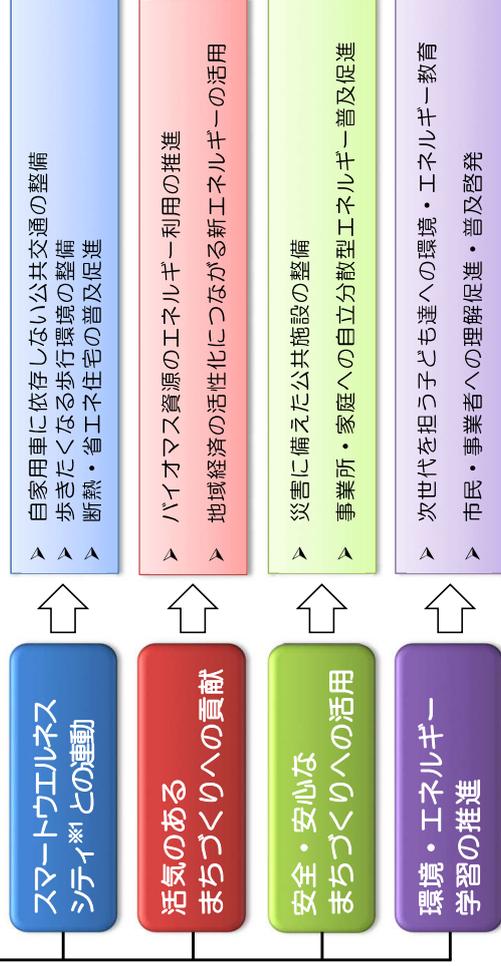
# 見附市新エネルギー・省エネルギービジョン 概要版 (対象期間: 2020年度~2030年度)

地域に存在する資源やこれまでに利用してこなかった資源をエネルギーとして活用することにより、雇用の創出、地域経済循環など地域活性化を進めるとともに、これからの将来を担う子どもたちも含めて広く市民・事業者に見附市新エネルギー行動や新エネルギー活用を示すことにより、本市でのエネルギー転換を段階的、持続的に進めることを目的として策定しました。

## 《見附市新エネルギー・省エネルギービジョンの体系》

【目指す将来像】

### 新エネルギー・省エネルギーで安全・安心・健幸に暮らせるまち



※1 スマートウエルネスシティ: 身体面の健康だけではなく、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れる状態を「健幸(けんこう)=ウエルネス」と呼び、まちづくりの中核に据えていこうという考えです。

## ■見附市で活用できる新エネルギー

### 太陽光（発電）・太陽熱

太陽の光がもつエネルギーを、太陽光発電パネルにより直接電気に変えます。また、太陽の熱エネルギーを集熱器で集めて、給湯や冷暖房として利用する方法もあります。広く普及していますので、自宅にも設置されているかもしれません。

### 地中熱利用

地下10～15mになると地中の温度は年間を通してほぼ一定であることから、気温との温度差を利用したヒートポンプにより冷暖房等を行うことができます。住宅でも導入することができます。

※上記は見附市での導入ポテンシャルが大きいものだけでなく、他にも多くの新エネルギーがあります。

## ■新エネルギー・省エネルギーの取り組み

- ✓ 公共施設への太陽光発電システム導入（全18施設）
- ✓ 今町小学校のエコスクール整備
- ✓ ESCO事業<sup>※2</sup>による市役所庁舎・文化ホールの省エネ改修
- ✓ 家庭での新エネルギー設備導入に対する支援
- ✓ 住宅の断熱リフォームに対する支援
- ✓ 見附市定住促進・健康住宅判断基準に基づく住宅取得補助
- ✓ ウエルネスタウンみつけにおける住宅設計ガイドラインの導入
- ✓ 使用済み天ぷら油の回収⇒BDF<sup>※3</sup>化による燃料利用
- ✓ 公共施設における電気自動車充電器の整備
- ✓ 街路灯・防犯灯のLED化

## ■SDGsの取り組み

「住んでいるだけで健康で幸せになれる健康都市の実現」を目指す将来像とする、「見附市SDGs未来都市計画」に基づいて、SDGsの達成に向けた様々な取り組みを進めているところであり、本ビジョンも同計画との整合を図りながら、取り組みや考え方を取り入れています。

SDGs（持続可能な開発目標）とは、... 持続可能な世界を実現するために17のゴール・169のターゲットから構成された、2030年までの国際目標であり、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

※2 ESCO(エスコ)事業:Energy Service Companyの頭文字をとったものであり、省エネルギーを民間の企業活動として行い、顧客にエネルギーサービスを包括的に行う事業者をESCO事業者と呼び、報酬はエネルギー料金削減分で賄われます。  
 ※3 BDF:Bio Diesel Fuelの頭文字をとったものでバイオディーゼル燃料とも呼ばれます。菜種油や使用済み天ぷら油などの生物由来油を精製することにより作られる、ディーゼルエンジン用燃料の総称です。

## ■重点プロジェクト

特に進めるべきものを、「重点プロジェクト」に位置づけて積極的に推進していきます。

### ①バイオマス循環プロジェクト

市内で多く発生するもみ殻や、剪定枝といった木質資源をエネルギーとして活用し、地域資源によるエネルギーと経済循環の仕組みづくりを目指します。



もみ殻有効利用・6次産業化



木質資源活用



### ②災害に強い公共施設整備プロジェクト

防災拠点施設となる公共施設に、新エネルギーと蓄電池を設置し自立的な電源を備えることにより、災害があっても安全で安心でできる公共施設整備を進めていきます。



3 気候変動対策



太陽光発電



### ③環境共生モデル 健康(スマートウエルネス)住宅プロジェクト

高性能な住宅は、省エネルギー(二酸化炭素の削減)と健康の両面でメリットがあることから、新築住宅・既存住宅ともに高性能住宅の普及を進めていきます。



ZEH<sup>※4</sup>(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及啓発

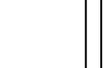


### ④過度な自動車依存から脱却するための公共交通整備プロジェクト

公共交通を充実させることにより自動車からの転換を図り、効率的なエネルギー利用、大気環境の改善、市民の健康増進に取り組んでいきます。



コミュニティバスの充実



### ⑤安全・安心・エコなまちづくりプロジェクト

市街地において新エネルギーや省エネルギーの取り組みを進めていくことにより、市街地の賑わいの創出や市内外へのPR・啓発につなげていきます。

### ⑥公共施設への地中熱活用プロジェクト

本市において有望なエネルギー資源である地中熱利用について、歩道での融雪利用や公共施設の整備に合わせた導入を検討していきます。

### ⑦未来×エネルギー”環境教育プロジェクト

「子どもたちへのSDGs教育」との連携を図りながら、見附市の将来を担う人材の育成も見据えた、環境・エネルギー教育を進めていきます。



SDGsの17のゴールを示すアイコン

※2 ESCO(エスコ)事業:Energy Service Companyの頭文字をとったものであり、省エネルギーを民間の企業活動として行い、顧客にエネルギーサービスを包括的に行う事業者をESCO事業者と呼び、報酬はエネルギー料金削減分で賄われます。

※3 BDF:Bio Diesel Fuelの頭文字をとったものでバイオディーゼル燃料とも呼ばれます。菜種油や使用済み天ぷら油などの生物由来油を精製することにより作られる、ディーゼルエンジン用燃料の総称です。

※4 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス):断熱性能の向上や高効率な設備システム導入による省エネルギーに加えて新エネルギーを導入することにより、年間のエネルギー消費量の取支がゼロ以下となる住宅のことです。

※5 グリーンスローモビリティ:電気により時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の自動車の総称です。高齢者の足の確保や観光客の利便性の高い周遊手段、災害時の移動可能な蓄電池として活用が期待されています。